

## 第5節 3日目：2月19日（土）：青井岳～都城 曇り／小雨

2022年2月19日（土）曇り／小雨、南九州の旅の三日目は、日豊本線の青井岳駅から都城駅までの営業キロ20.6kmに挑戦する。ホテルで朝食をとり、昨日ウォーキングを開始した青井岳駅まで向かう。歩き当初、昨日に比べ肌寒かった。



※青井岳駅への乗車券、青井岳駅



※青井岳駅時刻表



※青井岳駅、青井岳駅界限のコンビニ、山之口駅への路

本日の各駅舎到着時刻は、次の通り。本日のコースはネットで勉強して臨む。

青井岳 (8:05) ～山之口 (11:08) ～餅原 (12:33) ～三股 (14:10) ～都城 (15:28)

①本日は宮崎駅ではなく、都城駅から青井岳駅まで移動する。本日は青井岳駅での離合はなかった。8時5分、国道269号線に出る前は、昨日と同様な道筋を歩く。8時11分、国道269号線に合流する交差点からは昨日の反対方向に進む。この交差点界限にはコンビニがあった。昨日に比べ民家が沿線に沿って所々にあった。坂道を下る。8時20分、五十山6号橋を通過。山道を淡々と下る。8時41分、都城まで22km地点に到達。9時18分、道の駅山之口があった。9時48分、日当瀬橋（ひなせ）を渡る。9時59分、都城まで17km地点（山之口町五反田）を通過。10時18分、山之口側道橋（東岳川）を渡る。10時48分、高速道路下を通過。この辺りから平坦な地となり、民家などが沿線に沿って多くなる。11時8分、山之口駅に到着。



※道の駅山之口、日当瀬橋、梅並木



※山之口駅

②餅原駅への路は、多少なりともネットでの学習効果が発揮されたような気がする。11時8分、JR線を潜り、鉄道の右側となる。国道269号線を少し歩いた先で、JR線に少しでも近づくため、農道に道筋を変える。11時29分、万歩計で234歩ある馬越橋（花の木川）を渡り、JR線に沿って歩く。途中、焼き芋や苺を販売する店があった。T字交差点に出て、飯起橋界隈で右往左往する。一度は国道に出た先に飯起バス停（11時48分）があった。この交差点は、事前勉強した地名。この交差点からJR線に近づく段取りであった。それ故、自分のミスに気付き、先程の道筋を引き返す。15分位ロスタイムが生じる。T字交差点からはJR線に沿って道路は続いていた。ここからは学習効果が上手く作用する。12時9分、53歩ある富吉川を渡る。12時15分、唐上橋を渡る。12時33分、餅原（もちばる）駅に到着。丁度、宮崎行きの電車がやって来る。雑木林に沿って駅舎があった。この駅界隈で薄日となる。



※JR線を潜る、沓掛バス停



※国道から農道へ、苺ハウス（両親の苺栽培を思い出す）、誤って飯起交差点へ



※飯起橋、唐上橋界限



※餅原駅

③暫く鉄道に沿って歩く。12時58分、行き止まりとなる。1km位引き返す。ここでも15分位ロスタイムが生じる。13時3分、誤ってスタートした地点まで戻る。前方に山があるため、大きく迂回し、この山を越える道筋となる。13時16分、国道269号線に合流する。13時30分、万歩計で318歩ある岩下橋側道橋（沖水川）を渡る。ここから三股駅は意外に遠かった。何人もの地元の人に聞きながら進む。13時59分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。近くに三股駅は見える

が、複雑な住宅街が介在したため、くねくねと方向転換しながら、やっと 14 時 10 分、三股駅に到着する。



※行き止まりに向かって進行、正面が引き返す原点、三股駅への路



※岩下橋側道橋（沖水川）、JR 線を跨ぐか否か右往左往する、決断の結果、JR 線を跨ぐ



※三股駅

④都城駅への道筋は一本路であった。しかし、途中で、小雨模様から雨となったこともあり都城駅は遠かった。14 時 54 分、早水バス停前を通過。15 時 10 分、年見バス停前を通過。15 時 23 分、栄町バス停前を通過。やっと都城駅には 15 時 28 分到着。



※早水バス停、栄町バス停、遠くに都城駅



※都城駅

⑤ホテルでゆっくり湯に浸かった後、コンビニでアルコールなどを買い物し、ホテルでテレビを見ながら祝杯をあげる。本日も充実した一日であった。



※都城グリーンホテル、ホテル4階からの眺め、テレビで楽しむ

## 第6節 4日目：2月20日（日）：霧島神宮～都城 晴れ

2022年2月20日（日）晴れ、南九州の旅の4日目は、日豊本線の霧島神宮駅から都城駅までの営業キロ29.5kmに挑戦する。今回の旅で、最長の歩きとなった。当初は北永野田駅から都城駅までの23.5kmを考えていたが、明日以降の歩きの軽減と明日霧島神宮の参拝をするため、霧島神宮駅から北永野田駅までの区間（6km）を前倒しにすることにした。本日のコースは、最長の区間ではあるが、リュックを背負わずに臨めるし、概ね鉄道と幹線道路が並走していたので、距離の割には楽なコースと考え、変更し踏み切った。



※朝ホテルで朝食をとり、いざ霧島神宮駅へ



※都城駅、鹿児島中央行き

車窓から本日の道筋を確認しながら霧島神宮駅まで移動する。山間が続く中、所々で本日歩く道筋が登場する。各駅舎の到着時刻は次の通り。



※日曜日のため車内はがらがら、車窓からの五十市駅と北俣駅

霧島神宮（7:45）～北永野田（9:43）～大隅大川原（11:16）～北俣（12:46）  
～財部（13:55）～五十市（15:55）～西都城（17:07）～都城（17:48）

①霧島神宮駅前でタクシーが1台停車していた。明日、霧島神宮参拝の際利用させてもらうことにした。霧島神宮駅前を種々のアングルで撮影後、北永野田駅に向けてスタートする。7時59分、湯之宮バス停（ふれあいバス）前を通過。8時20分、霧島平成橋（手籠川）を渡る。あじさいロードを下る。8時43分、県道2号線（都城隼人線）に合流する。山肌を見ながら進む。9時32分、永木峠橋を渡る。9時35分、県道2号線と北永野田駅へ案内がある県道471号線の分岐点に到達。県道471号線を下った先に北永野田駅（9時43分）があった。駅前には民家はなく、ひっそりした駅舎であった。



※霧島神宮駅までの乗車券、霧島神宮駅





※霧島神宮駅（霧島神宮はここから6 km位）



※湯之宮バス停前



※霧島平成橋



※あじさいロードから県道2号線に出る



※県道471号線分岐点までの路



※北永野田駅への路、北永野田駅



※北永野田駅



### ※北永野田駅

②北永野田駅から大隅大川原駅への路はなしと考え、再度 471 号線を引き返し、9 時 53 分県道 2 号線に戻る。9 時 58 分、霧島市から曾於市となる。10 時 7 分、右手に JR 線が見え安堵する。10 時 23 分、都城 21 km、財部（たからべ）13 km と記した道路標識前（吉ヶ谷）を通過。近くに吉ヶ谷公民館前バス停（鹿児島交通）があった。10 時 54 分、JR 線下を潜り鉄道の下側となる。段々と民家が密集して来る。11 時 16 分、大隅大川原駅に到着。駅舎には沢山の野菜を中心とする絵があった。この界限には茶畑が多々あった。先日テレビをつけたら、「お茶日本一の都道府県はどこか」のクイズ番組があった。答えは、鹿児島県が静岡県を抜いて日本で、今回の旅を通じ納得した。



### ※霧島市から曾於市（そお）へ、橋梁を潜る、大隅大川原駅への路



※大隅大川原駅



※大隅大川原駅



※大隅大川原駅

③11時31分、財部町大川原（県道2号線）とある道路標識前を通過。近くには茶畑が広がっていた。11時46分、財部町馬水を通過。11時55分、正部バス停（鹿児島交通）を通過。12時31分、財部町刈原田とある標識前を通過。12時40分、刈原田跨線橋を渡り鉄道の右側となる。その先で、北俣バス停を発見。ガードレールがある草路をかき分け、坂を下り、ホームより北俣駅（12時46分）へ。陸橋を渡り、北俣駅舎をデジカメに収める。この駅前もひっそりしていた。100m位歩いた先に、作業をしている住人がいたので、「ここから財部駅方面には抜けられます」とお伺いする。「道なりに歩くと県道2号線に出られます」と教えて頂く。



※茶畑



※北俣駅への路（肌寒し）



※この坂下ると北俣駅、北俣駅



※北俣駅

④教えてもらった路筋を歩いた先に、閉山田踏切（とじやまだ、12時58分）があった。13時15分。都城10km、財部3kmと記した道路標識前を通過。この辺りから、山間から平原の歩きとなる。



※県道2号線への路、閉山田下踏切、閉山バス停

13時21分、閉山バス停（鹿児島交通）があった、13時48分、道路から少し上った先にある財部小学校前を通過。13時55分、財部駅に到達。この駅の境界は賑やかであった。駅舎には食事処があった。しかし、到着時間が遅かったため閉店になっていた。14時11分、万歩計で68歩ある前川橋（横市川）を渡る。その先、”さん吉うどん”を見つけたので遅いランチとする。ランチをとりながら、”**全国鉄道つたい歩き**”に関し、話す機会を得たのでPRさせて頂く。15分位、休息を取り、この店を後にする。店を出る際、「鹿児島県と宮崎県の県境」について教えてもらおう。「セブンイレブンがある道路が県境」とのこと。県境は通常川の中央や山の峠が多いが、ここの県境は道路であった。



※財部小学校、財部駅



※県境の駅” 財部駅”



※うどんさん吉

⑤数分歩いた先で、15時6分、鹿児島県曾於市から宮崎県都城市となる。道路に沿って、店や民家が切れ目なく広がっていた。セブンイレブン前のバス停名は、” 県境 ” とあった。この境界でボールペンをロストする。また、地図は、北俣駅境界でロストする。それ故、ボールペン購入のため、コンビニを探す。道なりに歩いた先に、五十市駅があったが、大型スーパー（ニシムタ）から駅に繋がる道筋はなく、後戻りを余儀なくされる。大回りとなったが、大型スーパーに100円ショップがあり、運よくボールペンを購入できる。



※粋な茶販売屋号” 雪舟園 ”、鹿児島県曾於市、宮崎県都城市



※粋なバス停名” 県境 ”、向うに五十市駅が見えるが行けず、久保原上踏切まで後戻り



※五十市駅



15時50分、500m位引き返し先に久保原上踏切がある。この踏切を横切って、鉄道の左側となる。道なりに歩いた先に五十市駅（15時55分）があった。20分位ロスタイムとなる。



#### ※五十市駅

⑥16時、五十市中学校前を通過。16時15分、城山上踏切を横切り鉄道の右側となる。16時28分、万歩計で246歩ある歌舞伎橋（大淀川）を渡る。この橋を渡ると、西都城の街並みが広がる。



#### ※西都城駅への路

地図をロストしたこともあり、ここから西都城駅の到着に苦勞する。地元の人に聞きながら、市街地をくねくねと歩く。16時53分、都城市役所があった。16時58分、裁判所前を通過。西都城駅はここから簡単と思ったが、意外にややこしかった。17時7分、右往左往してやっとのことで西都城駅に到着する。駅に隣接して宮崎交通ビルもあった。もしかすると、都城駅界限よりも西都城駅界限の方が、行政機関がある分、賑やかかも知れない。



※都城市役所、裁判所、西都城駅



西都城駅



※西都城駅前、宮崎交通



※西都城駅構内、列車文庫

⑦17時22分、大王橋（年見川）を渡る。17時32分、小松原地区公民館前を通過。やがてアパホテルや都城グリーンホテルが遠くに見えて来る。道なりに歩いた先に、ホテルから見えるガストがあった。その先に先日夕食をとった”COCO'S”があった。そして、暫く歩いた先に都城駅（17時48分）があった。



※都城駅への路



※ガストが見えて来る、都城駅



※都城駅、都城グリーンホテル

⑧ホテルには17時58分到着。18時より、大河ドラマ”鎌倉殿の13人”と”雲霧仁左衛門”を見てから、コンビニで祝杯するネタを購入。そして、大浴場で本日の疲れを癒し、部屋でテレビを見ながら祝杯をあげる。寂しい限りであるが、コロナ禍の影響で大半の店は閉店だし、アルコールはNGなので。辛抱の都城3泊であった。いい思い出になった。明日から鹿児島入り、どのようなロマンが待っているか楽しみである。

## 第7節 5日目：2月21日（月）：霧島神宮～加治木 晴れ

2022年2月21日（月）晴れ、南九州の旅の5日目は、日豊本線の霧島神宮駅から加治木駅までの営業キロ22.2kmに挑戦する。当初は、北永野田駅から隼人駅までの21.3kmを予定していたが、昨日の歩きで、北永野田駅から霧島神宮駅までを前倒ししたため、本日の行程となった。結果、大成功。



※リュックを背負い、都城グリーンホテルを後にする



※都城駅、きりしま1号

どうしても、最近国宝に指定された霧島神宮を是非参拝し、将来の夢の実現や色々な悩み事の払拭などを祈願したかった。加えて、集印帖に御朱印を賜りたかった。運よく、開門したばかりの事務所で、それが実現できて感謝感激。一方、この神宮は、遠い昔高校の修学旅行以来であったので懐かしくなった。



※霧島神宮駅、霧島神宮への階段、霧島神宮

本日は、ホテルでの朝食はパスして臨む。運よく、都城発6時41分発の特急「きりしま1号」に間に合う。霧島神宮駅には、7時15分到着。下車したのは、私1名であった。駅前に1台タクシーが停車していた。このタクシーを活用することにする。



※霧島神宮





### ※霧島神宮

霧島神宮駅から霧島神宮まで片道で6 km位ある。徒歩では鉄道つたい歩きのスケジュールが大幅に狂うので、往復タクシー利用（片道15分位）による参拝とした。偶然にも私と同一年の運転手さん（増田氏）と知り合う。この運転手さんに、参拝が終了するまで（約20分）待機してもらおう。世間話をしながら、道中を楽しむことができる。また、霧島神宮から国分駅まで概ねの道筋を教えて頂く。この運転手の出身地が本日終着駅の加治木とのことでビックリ。”世の中は実に不思議なものだ”と、また”何事も早め早めのアクションが大切だ”と痛感した瞬間であった。



※お世話になりました増田さん！！



### ※霧島神宮駅

霧島神宮参拝後、本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

霧島神宮（8:08）～国分（11:46）～隼人（13:36）～加治木（15:54）

①今回の旅で最も長い区間（12.7 km）である国分駅を目指す。しかし、私が歩いた中でも最も長い区間は、2015年6月26日（金）、宗谷本線の佐久駅から箆島（おさしま）駅までの営業キロ18 kmであろう。その次に長いのは、2019年6月5日（水）、北陸本線の敦賀駅から南今庄駅までの営業キロ16.6 kmであろう。それに比べて驚くべき営業キロではなかった。しかし、歩いても歩いても国分駅は遠かったのを実感した。



### ※県道60号線、県道475号線、県道60号線（JR線を跨ぐ）

霧島神宮駅前の街並みを暫く歩くと県道60号線（国分霧島線）にぶつかる。県道60号線を進む。8時35分、大窪南バス停前を通過。8時46分、JR線を跨ぐ分岐点で県道60号線に進むべきか、右折して県道475号線に進むべきか迷う。辺りには誰も人はいない。よく見ると、国分は県道60号線と小さな標識を見つけ県道60号線を選択する。日豊本線と大きく離れる箇所もあり、依然不安は払拭できなかった。急遽、”鹿児島おはら節”を思い出し、この民謡を口ずさみ



ながら、ひたすら山を下る。「花は霧島、たばこは国分、燃えてあがるはおおはら桜島」正に、今歩いている場面にぴったりの民謡であった。

途中、霧島市役所行きの路線バスが通過して行く。これで誤った方向には進行していないと自信を深める。



※疑心暗鬼で県道 60 号線を進む

9 時、霧島峠を通過。9 時 43 分、北永野田駅や大隅大川原駅へ繋がる県道 2 号線路があった。9 時 45 分、入戸バス停前を通過。9 時 57 分、関の坂 4 号橋から遠くに桜島を見つける。感動した光景であったので、何人かの友人に感動を発信する。ここから、桜島を見ながら、国分駅を目指す。10 時 38 分、万歩計で 72 歩ある手籠川を渡る。11 時 2 分、102 歩ある新町橋（郡田川）を渡る。国分新町には 11 時 11 分到着。ここから国分駅はまだまだであった。



※山間から桜島と霧島市内が見えて来る



※路線バスが停車、国分中前、大学前（第一工科大学前）

11時13分、あかつき認定こども園前を通過。11時22分、第一工科大学前を通過。そして、坂を上り下ると街並みとなる。国分駅には11時46分到着。国分駅は、霧島市の中心にあり、鹿児島市に次いで人口が多い市であり、駅界隈は賑やかであった。この駅で、2000年5月3日（水）から始めたウォーキングが、**国分駅で1万3千キロを突破**する。国分と聞いて、昔フコク生命時代一緒に汗をかき遊んだ国分正雄氏を思い出した。また、国分姓は祖母の実家であり、”**人生とは不思議なものです**ね”を強く感じた瞬間であった。



※若宮神社、国分駅交差点



※国分駅

②国分駅は、大隅半島の入口でかつては大隅線（国分～志布志：1987年3月14日廃線）があったとのこと。残念無念。もし存続すれば、大隅線と日南線を活用し、海岸線回りで国分から南宮崎を踏破したかった。11時58分、霧島市役所前を通過。市役所周辺には沢山の施設があった。外食産業が多いメイン通りに

出る。12時10分、懐かしい”やよい軒”に出くわしたので、30分位ランチタイムとする。ランチタイムを活用し、1万3千キロの感動などを、何人かの友人にSMSで発信する。



※霧島市役所、やよい軒、野口橋



※隼人塚踏切、隼人駅

12時59分、万歩計で295歩ある野口橋（天降川）を渡る。13時27分、隼人塚踏切を横切る。少し戻った先に隼人駅（13時46分）があった。この駅から八代に向かう”えびの高原線”があった。正に”どこまでも続く鉄道よ”である。



※隼人駅



※隼人駅

③当初はこの駅で終点であったが、北永野田～霧島神宮間（6 km）を前倒しにした関係で、隼人～加治木間 6.9 kmを歩く。隼人駅は霧島市、加治木駅は始良（あいら）市で山越えとなる。14時21分、小野小学校前を通過。14時47分より、170mある小野浜トンネルを通過する。14時56分、高速道路下を潜る。15時15分、10号線に合流する。15時20分、暑くなったのでセーターを脱ぐ。15時24分、霧島市から始良市となる。15時40分、55歩ある橋を渡る。その先を道なりに歩き、右折した先に加治木駅（15時54分）があった。この駅は、特急停車駅で始良市の中心と思われた。



※小田バス停、加治木駅への路、小野浜トンネル



※初めて近くに海岸線が見える、霧島市から始良市へ



※加治木駅近くのユニークな山、加治木駅



※加治木駅

④運よく、16時1分発のきりしま11号鹿児島中央駅行きがあったので乗車する。観覧車がある懐かしい鹿児島中央駅には16時25分到着。鹿児島中央駅は、2013年4月、鹿児島本線踏破の際、立ち寄った駅舎。その時、東横イン鹿児島中央

東口を利用させてもらった。懐かしい限りだ。ホテルで汗を流した後、ホテルの紹介で駅前の屋台横丁の居酒屋に立ち寄る。そこで、**1万3千キロの祝杯**をあげる。感動また感動の瞬間であった。



※きりしま 11 号からの桜島、鹿児島中央駅



※懐かしい市電と東横イン鹿児島中央東口



※マスター推奨の日本酒”天賦”で祝杯！！



※屋台横丁の居酒屋で祝杯！！